

令和3年度 大田区立東調布第一小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

<p>《教育目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく考え、工夫する子 ○いつも元気で丈夫な子 ○こころ豊かに助け合う子 ○ねばり強くがんばる子 	<p>◇知・徳・体のバランスのとれた東一の子の育成 ～未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む～</p> <p>◇信頼される魅力ある学校づくり ～学校・地域・家庭との連携・協働～</p> <p>校内研究 「対話を通して学び合う児童の育成」 ～主体的・対話的な学びにより、思考力・判断力・表現力を育成～</p>	<p>知(確かな学力) …基礎・基本の定着と共に、主体的・対話的で深い学びにより思考力・判断力・表現力を育成し、子供たちに確かな学力を身に付けさせる。</p> <p>徳(豊かな心) …規範意識を向上させると共に、心の教育を充実させ、子供たちの豊かな心を育成する。</p> <p>体(健康な身体) …体力向上の取り組みや健康教育の充実により、子供たちの健康、体力を向上させる。</p> <p>信頼される学校 …家庭・地域との連携を深め、共に子供たちを育てる。 教育公務員として服務を遵守し、保護者、地域の信頼に応える。</p>
---	---	--

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄						
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にかなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が90%以上である。	4:	授業での効果的な活用を図るため、毎週「ICT二研修会」を開催し、教員一人一人のスキル向上に努めた。研修会では授業で実際に活用できる内容を厳選し、ICT機器の活用について理解を深め、授業で活用する上で、授業での活用において教員間で個人差があること、新型コロナウイルス感染症対策により保護者の参加機会が減少し、活用場面を見いだすことができなかったこと、タブレット端末の活用については今後、校内だけでなく保護者に向けてもルールを周知し、徹底していくことで情報モラル教育のさらなる徹底に努めていく必要があると考える。第3学期からは、家庭ルール及び学校ルールの徹底を図り、家庭における活用について学年で課題や持ち帰り回数なども検討し、対応していく。	A 10 B 0 C 0 D 0	「児童のリテラシー向上は重要な課題」と思いますが、先生方自身も試行錯誤しながら大変だと思いが、前向きに取り組んでいただければと思います。 ・タブレット端末によるリモート環境が整い、学習が継続されていることは大変に喜ばしいことだ。今後の課題としては、リモート参加している児童への声掛けや質問などにより、リモート側の緊張感を向上させ、授業への参加意欲をより高めていくことではないだろうか。コロナで忙しか大変なことであるから、教員側のスキル向上し、余裕が出てきたら活用を促して、検討をお願いします。 ・運動会のコロナ感染症対策により表現運動と短距離走のみであったが、各学年の特徴を表した表現運動が素晴らしいと感じました。 ・コロナ禍の現下の状況下において、コミュニケーションや情報活用は現実的に難しい点も多々あると思いが、そのような中で、更にIT化を推進することは、先生方にとっても児童の皆さんにとっても大変難しい面があるのとは当然と思いが、更に今年度デジタル化を推進し、デジタル活用にも力を入れています。そこで学校は、「ICT二研修会」や「ICT委員会」を設置し、対応していることは素晴らしいと思いが、更に「体力向上全体計画」、「国際理解教育」等も加えた上で「教育」まで含めて、肯定評価が前年を4%上回ることは大きな成果だと思いが、保護者の参加機会が少なかったですが、児童のICT機器の活用はぐんと伸びました。 ・コロナ禍でも様々な工夫を凝らし、子供たちが積極的に学習に取り組める環境を作っておられることに感謝いたします。 ・ICTの活用については、とにかくチャレンジしていくことかと思うので、確実に前進していけるよう区内の活用事例を参考にさせていただいて、更なる充実を希望します。					
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おたのみのつくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	3:保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が85%以上である。	3:	・今年度は、「体力テスト」を実施することができた。また、運動会では、表現運動の他短距離走を行った。児童の体力向上を図るため、人数の制限や実施方法の工夫、児童同士の関係などとの配慮をしながら体育朝会や体育教育を実施した。校区からの指示を受けながら今後も児童の体力向上を図っていく。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。		・授業では、教材の視覚化・共有化を図り、児童の学習内容に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上につなげる。また、習熟度別算数少数指導を全学年で実施していることで、きめ細かな指導を行うことができ、算数に苦手意識をもつ児童にとって非常に高い効果があると考えられる。 ・土曜授業日に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学年一実践」運動を実施する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「ICT機器を活用した授業に取り組んでいる」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		未来を創る力を育てるために、外部人材と連携したり、ICT機器を活用したりして、地域学習、国際理解教育、理科教育、食育などを実施する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
プラン2 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が90%以上である。	4:	・授業では、教材の視覚化・共有化を図り、児童の学習内容に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上につなげる。また、習熟度別算数少数指導を全学年で実施していることで、きめ細かな指導を行うことができ、算数に苦手意識をもつ児童にとって非常に高い効果があると考えられる。 ・土曜授業日に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。	A 9 B 1 C 0 D 0	算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2～3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。	3	3:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が85%以上である。	3:	・評価としては非常に高い水準にあるが、細かく見ていかなければならないと思いが、 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。
		学習指導員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。	4	2:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		主体的・対話的で深い学びにより、思考力・判断力・表現力を育てる授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。	4:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回は以上行った。 1:実施しなかった。	3	3:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が85%以上である。	3:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が85%以上である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
プラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育てるなど、未来への希望に満ちた豊かな心をばぐくみます。	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育てるなど、未来への希望に満ちた豊かな心をばぐくみます。	学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	3:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が85%以上である。	3:	・評価としては非常に高い水準にあるが、細かく見ていかなければならないと思いが、 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。	A 9 B 1 C 0 D 0	学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		あいさつ運動を推進し、きもちよい挨拶の習慣を身に付ける指導に努めている。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		必要事項に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%以上である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		必要事項に対しておこなった会議を実施した。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
		必要事項に対してあまり会議を実施しなかった。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「確かな学力の定着」の満足度が80%未満である。		・成果指標の結果から保護者の皆さんの学校に対する高い信頼が表れていると思いが、 ・以前(数年前)、ALTの授業を参観させていただいた時に、児童がとても楽しそうに身振り手振り英語を学んでいる姿にカルチャーショックを受けたことがありました。もしも、日本の授業には、照れや厳格さなどが強すぎて、真に勉強の状況が損なわれているところがあるのではないと思いが、 ・「土曜授業」に実施している「ステップアップタイム」では、児童を対象に計算力向上を目的としたタブレット学習を行っている。緑の学習や必要に応じて前年または前々年度の学習内容にも触れられることが、非常に効果的であった。 ・今年度はさらにタブレットを活用して個別に合わせた指導や個別化学習を実施し、学習内容の確実な定着を図っていく。 ・少人数での対話的学習を授業の中に意図的に位置付けることで児童の深い学びにつなげていく。発達段階に応じた到達目標を設定することで、対話的な学習の充実を図っていく。					
プラン4 体力向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	4:児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が90%以上である。	4:	・本校では「早寝・早起き・朝ごはん」の強化週間を設けるとともに児童や保護者の意識向上を図るため、チェックカードを活用し、規則正しい生活を送ろうとする意識の育成に注力している。 ・感染症予防マニュアルを作成し、全教職員で感染症予防に取り組んでいる。マスクの着用や手消毒、フェイスマスクの着用やソーシャルディスタンスなど、気を配るなどなく学校全体で今後も継続して取り組んでいく。	A 10 B 0 C 0 D 0	給食指導及び教科等における指導を通して、児童の生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	3:児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が85%以上である。	3:	・児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が85%以上である。
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	2:児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が98%以上である。	2:	・児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が98%以上である。							
		感染症予防・東一小マニュアルをもとに、感染症予防対策に努めている。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が80%未満である。	1:	・児童アンケート「(自分は)体を動かすことが好きだ」が80%未満である。							
		「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が90%以上である。	4:	・今年度は感染症予防の観点から、体育館において、各学級(単位時間)の授業公開とした。また、運動会は、表現運動とかけっこと短距離走を公開し、東一ステージは、合唱及び合奏を保護者鑑賞日を設定し、実施した。いずれも参観の人数制限は設けたものの、保護者からは実施に際して肯定的な評価をいただいた。今後ともこの感染症予防ポイントに、それに沿った本校のマニュアルに沿って保護者に児童の様子を公開し、評価していく。	A 10 B 0 C 0 D 0		授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が90%以上である。	4:	・今年度は感染症予防の観点から、体育館において、各学級(単位時間)の授業公開とした。また、運動会は、表現運動とかけっこと短距離走を公開し、東一ステージは、合唱及び合奏を保護者鑑賞日を設定し、実施した。いずれも参観の人数制限は設けたものの、保護者からは実施に際して肯定的な評価をいただいた。今後ともこの感染症予防ポイントに、それに沿った本校のマニュアルに沿って保護者に児童の様子を公開し、評価していく。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4:学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回は以上行った。 1:実施しなかった。	4	3:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が85%以上である。	3:			・保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が85%以上である。					
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%以上である。	2:			・保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%以上である。					
校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:1回以上行った。 3:学期に2～3回以上行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	1:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%未満である。									
校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「教方(内容や方法)を工夫している」の満足度が80%未満である。									
教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:1回以上更新した。 3:学期に2～3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。	4	4:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が90%以上である。	4:	・今年度、新型コロナウイルス感染症防止のため、学校公開や学校行事等、一部制限をかけた実施となった。保護者の意見として学校の児童の様子を知りたいとのことであったので、保護者会を通じて発信するとともに今後もホームページの更新を計画的に行うようにする。	A 10 B 0 C 0 D 0		学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	4	3:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が85%以上である。	3:	・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見て、地域連帯や近隣の学校や学習、遠征など、感染症防止策の情報を十分に提供し、児童や児童の健康・関心を高めようとする。児童の活動を積極的に発信した。	
学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:学期に2～3回以上行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	2:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%以上である。									
地域人材や読書学習司書を生かした読み聞かせや計画的な朝読書などを実施する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%未満である。	1:	・保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%未満である。									
今年度、新型コロナウイルス感染症防止のため、学校公開や学校行事等、一部制限をかけた実施となった。保護者の意見として学校の児童の様子を知りたいとのことであったので、保護者会を通じて発信するとともに今後もホームページの更新を計画的に行うようにする。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が90%以上である。	4:	・今年度、新型コロナウイルス感染症防止のため、学校公開や学校行事等、一部制限をかけた実施となった。保護者の意見として学校の児童の様子を知りたいとのことであったので、保護者会を通じて発信するとともに今後もホームページの更新を計画的に行うようにする。									
「新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見て、地域連帯や近隣の学校や学習、遠征など、感染症防止策の情報を十分に提供し、児童や児童の健康・関心を高めようとする。児童の活動を積極的に発信した。」	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	3:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が85%以上である。	3:	・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見て、地域連帯や近隣の学校や学習、遠征など、感染症防止策の情報を十分に提供し、児童や児童の健康・関心を高めようとする。児童の活動を積極的に発信した。									
読書学習司書やPTAの読み聞かせの会の方の読み聞かせの時間を確保した。今年度は「読書学習司書」の活用も進められた。児童の健康・関心を高めようとする。児童の活動を積極的に発信した。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%以上である。	2:	・保護者アンケート「地域や保護者と連携した教育活動を進めている」の満足度が80%以上である。									

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。